

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)	
科目名	情報リテラシーと処理技術	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。Excelの基本操作を学習する。					
授業概要	演習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。Excelの基本操作を学習する。					
テキスト	Word2016セミナーテキスト基礎・MOS攻略問題集Word2016・情報リテラシーと処理技術 Excel2016セミナーテキスト基礎					
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、個人情報、Windows10セットアップ 授業データ・Office インストール				
	第2回	USBメモリの使い方、ネットワーク接続、インターネットの設定 ウイルスソフトの設定				
	第3回	プリンタ設定とテスト印刷、Windows up date				
	第4回	Officeライセンス認証、MOSWord模擬インストール				
	第5回	Adobe Acrobatインストール、PC初期設定変更、授業データについて				
	第6回	オペレーティングシステムの6つの管理項目				
	第7回	パソコンの基本操作、タッチタイピング、文字入力について、Wordの基本操作				
	第8回	新規文書の作成、文書の編集1				
	第9回	文書の編集2				
	第10回	文書の編集3				
	第11回	表の作成と編集1				
	第12回	表の作成と編集2、グラフィックスの利用1				
	第13回	グラフィックスの利用2、印刷				
	第14回	コンピュータの5大機能について				
	第15回	情報システムと社会生活との関わりについて				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)						
科目名	情報処理 I 情報リテラシーと処理技術	授業形態	演習	単位数	1 単位						
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○								
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。										
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。Excelの基本操作を学習する。										
授業概要	演習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムの発展、コンピュータ、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。Excelの基本操作を学習する。										
テキスト	Word2016セミナーテキスト基礎・MOS攻略問題集Word2016・情報リテラシーと処理技術 Excel2016セミナーテキスト基礎										
授業計画	第1回	文書の作成と管理1									
	第2回	文書の作成と管理2									
	第3回	文字、段落、セクションの書式設定1									
	第4回	文字、段落、セクションの書式設定2									
	第5回	表やリストの作成									
	第6回	参考資料の作成と管理									
	第7回	グラフィック要素の挿入と書式設定1									
	第8回	Excel基本(表作成と数式関数)									
	第9回	Excel基本(表作成と数式関数 演習)									
	第10回	模擬1(演習)									
	第11回	模擬1(テスト)									
	第12回	模擬2(演習)									
	第13回	模擬2(テスト)									
	第14回	模擬3(演習)									
	第15回	模擬3(テスト)									
単位認定 ・ 評価方法	<p>期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席</p> <p>平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>	総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
期末	中間	平常	出欠								
50%	25%	10%	15%								

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期									
科目名	スポーツ(実技)	授業形態	実技	単位数	1単位									
担当教員	池 茜	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として													
授業のねらい (到達目標)	生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を養う													
授業概要	各種のスポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。 仲間と身体活動を行う中で、自己の体力・健康の保持・増進を図る。													
テキスト	特になし													
授業計画	第1回	ラジオ体操・器械運動												
	第2回	ソフトバレーボール①												
	第3回	ソフトバレーボール②												
	第4回	バレーボール①												
	第5回	バレーボール②												
	第6回	バドミントン①												
	第7回	バドミントン②												
	第8回	ポートボール①												
	第9回	ポートボール②												
	第10回	バスケットボール①												
	第11回	バスケットボール②												
	第12回	スケート①												
	第13回	スケート②												
	第14回	ドッジボール①												
	第15回	ドッジボール②												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:服装及び授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期	
科目名	英語コミュニケーション	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	堀切修宏	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	小学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本科目では英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身につけることを目標とする。					
授業概要	英文法の基礎を学習し、英文読解のルールを用いて英文を読んでいく。また保育の現場での様々な生活場面を題材にした英文や英語表現の学習を通して、保育者と子どもや保護者とのコミュニケーションに使われる英語表現や連絡事項の書き方などを学習する。					
テキスト	「英語コミュニケーション」豊岡短期大学					
授業計画	第1回	英語の文法(動詞、形容詞・副詞)				
	第2回	英語の文法(比較、代名詞、疑問詞)				
	第3回	英語の文法(進行形、完了形、受動態)				
	第4回	英語の基礎構文(5文型)と英文読解のルール				
	第5回	英語の基礎構文(修飾句)				
	第6回	英語の基礎構文(接続詞、仮定法)				
	第7回	入園準備の際に用いる英語表現				
	第8回	登園・降園の際に用いる英語表現				
	第9回	室内遊びの際に用いる英語表現				
	第10回	外遊びの際に用いる英語表現				
	第11回	健康・病気・けがの際に用いる英語表現				
	第12回	運動・お散歩の際に用いる英語表現				
	第13回	食事の際に用いる英語表現				
	第14回	工作・お絵かきの際に用いる英語表現				
	第15回	おたより・行事の際に用いる英語表現				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	こども家庭福祉	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	子どもへの援助や保護者支援などの現場経験から、保育者に求められる子ども家庭福祉の法制度などの知識について教授する。													
授業のねらい (到達目標)	現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解するとともに、制度や関係機関の実施体制について学びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けながらこども家庭福祉の現状と課題についての考察を深めることで、今後の展望について見極める機会とす													
授業概要	望ましい保育者となるために、子ども家庭福祉の領域に関する基本的な知識・技術・人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。													
テキスト	「こども家庭福祉」 豊岡短期大学													
授業計画	第1回	オリエンテーション												
	第2回	こども家庭福祉の理念と概念												
	第3回	貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応①												
	第4回	貧困家庭、ひとり親家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応②												
	第5回	障害のある子どもへの対応①												
	第6回	障害のある子どもへの対応②												
	第7回	多様な保育ニーズへの対応①												
	第8回	多様な保育ニーズへの対応②												
	第9回	制度と法体系、実施体系①												
	第10回	制度と法体系、実施体系②												
	第11回	児童虐待、DV①												
	第12回	児童虐待、DV②												
	第13回	少年非行等への対応												
	第14回	母子保健と子どもの健全育成												
	第15回	こども家庭福祉の動向と展望												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	社会福祉論	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	社会福祉士としての現場経験から、保育・福祉の現場で求められる社会福祉について教授する。													
授業のねらい (到達目標)	保育者の視点から、現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び、社会福祉における子ども家庭支援の視点、制度、方法などについて学ぶ。													
授業概要	子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意義や歴史の変遷、その運営の制度や技術について理解を深める。													
テキスト	「社会福祉論」 豊岡短期大学													
授業計画	第1回	オリエンテーション												
	第2回	社会福祉の理念												
	第3回	社会福祉の歴史の変遷①												
	第4回	社会福祉の歴史の変遷②												
	第5回	社会福祉の制度と法体系①												
	第6回	社会福祉の制度と法体系②												
	第7回	社会保障と関連制度												
	第8回	社会福祉行財政												
	第9回	社会福祉施設												
	第10回	社会福祉の専門職												
	第11回	少子・高齢化社会												
	第12回	地域福祉												
	第13回	ソーシャルワーク①												
	第14回	ソーシャルワーク②												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	音楽表現論	授業形態	講義	単位数	1単位									
担当教員	川内 菜央	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	中学校、高等学校での現場経験から、本科目ではおもに音楽理論及び声楽について教授する。													
授業のねらい (到達目標)	感性と表現に関する領域「表現」について理解を深める。 音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につける。													
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性と表現に関する領域「表現」について学び、子どもの音楽表現の姿やその発達を促す要因について理解を深める。</li> <li>音楽理論について学び、理論に基づき音楽を総合的に理解する力を養う。</li> <li>声楽等の演習を通して、音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につける。</li> </ul>													
テキスト	「音楽表現論」豊岡短期大学、「子どもと音楽表現」豊岡短期大学													
授業計画	第1回	楽譜の基礎知識												
	第2回	楽譜の基礎知識												
	第3回	音名												
	第4回	記号と標語												
	第5回	記号と標語												
	第6回	音程												
	第7回	音程												
	第8回	和声とコード												
	第9回	和声とコード												
	第10回	音階												
	第11回	音階												
	第12回	レポート設題												
	第13回	レポート設題												
	第14回	音楽理論の総合問題												
	第15回	音楽理論の総合問題												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	造形表現論	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	こどもの表現や発達をイメージしながら、美術・造形の基礎・基本が身につく、実際に役立つような理論と教材研究を体得する。実技においても単に制作するのではなく、子どもの表現、発達、発想を常にイメージし、教育の現場に立った時を考えながら制作活動をする。						
授業概要	単なる美術・造形ではなく、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動ができる教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、理論と実技の両面から実践的に研究をする。						
テキスト	「造形表現論」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	人と美術造形表現について					
	第2回	美術・造形分野について					
	第3回	色・色彩について①					
	第4回	色・色彩について②					
	第5回	色・色彩について③					
	第6回	形の構成 構成の原理①					
	第7回	形の構成 構成の原理②					
	第8回	形の構成 構成の原理③					
	第9回	いろいろな表現技法について①					
	第10回	いろいろな表現技法について②					
	第11回	いろいろな表現技法について③					
	第12回	立体造形表現①					
	第13回	立体造形表現②					
	第14回	鑑賞					
	第15回	造形教育のまとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						



# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	人間関係論	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容を構成する人間関係の基礎理論を理解する。</li> <li>・子どもの発達とともに人間関係がどのように広がり、深まっていくのかを理解する。</li> <li>・保育の全体構造における人間関係に関して総合的に援助・指導が行えるような理論や知識を習得する。</li> </ul>						
授業概要	1) 乳幼児を取り巻く人的環境について理解する。 2) 現代社会の人間関係の諸問題を理解し、子どもが豊かな人と関わる力を育成するための、保育者の指導・援助などのかかわり方を理解する。						
テキスト	豊岡短期大学「人間関係論」、保育所保育指針						
授業計画	第1回	子どもの育つ環境を理解し、環境からさまざまな影響を受ける他者と関係					
	第2回	子どもを取り巻く環境と子どもが人と関わる力を育てるには					
	第3回	領域人間関係のねらいと内容					
	第4回	メディアが子どもの成長に与える影響					
	第5回	人間関係作りを支える保育者の役割					
	第6回	基本的信頼関係と人間関係					
	第7回	自己主張・葛藤体験・他者需要とは					
	第8回	遊びの中で育つ人と関わる力					
	第9回	科目修了試験					
	第10回	乳児期の人との関わり					
	第11回	幼児期と人との関わり					
	第12回	主体性、自発性、自立性、創造性など個の育ちと集団の関係性					
	第13回	幼児期と学童期の育ちの連続性と人と関わる力					
	第14回	まとめ：乳幼児期の人と関わる力を育てるとは					
	第15回	期末テスト					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期	
科目名	言葉とこどもの文化	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育要領に示された保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。</li> <li>2. 幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力を身に付ける。</li> <li>3. 模擬授業の実施とその振り返りを通して、保育を実践する力を身に付ける。</li> </ol>					
授業概要	幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、子どもが豊かな言語表現活動を行うために必要な児童文化財に関する知識や保育技術の習得を目指す。授業を通して、音や言葉の面白さを知るとともに、わらべうた、言葉あそび、絵本、お話、紙芝居、ペープサート、パネルシアター、エプロンシアターなど、さまざまな指導技術を学ぶ。さらに、模擬保育を通して、子どもの言葉を育む保育を展開する力を身に付ける。					
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林					
授業計画	第1回	授業の目的と概要、受講の心得等について知る。 幼稚園教育要領の基本と領域「言葉」の内容を確認する。				
	第2回	領域「言葉」のねらい及び内容を理解するとともに、指導上の留意点を確認する。領域「言葉」における小学校への接続を見据えた保育の展開を知る。				
	第3回	子どもの言葉を育むさまざまな児童文化財を知る。				
	第4回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊びに関心をもつ。				
	第5回	ことばの発達と遊び いろいろなことば遊びを知る。				
	第6回	様々な絵本の種類を知る。子どもの発達に合わせた絵本の選び方を知る。				
	第7回	図書館での教材研究 絵本選び				
	第8回	図書館での教材研究 絵本選び				
	第9回	領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成				
	第10回	領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成				
	第11回	模擬保育と振り返り 絵本の読み聞かせを中心に模擬保育と振り返りを行う。				
	第12回	模擬保育と振り返り 絵本の読み聞かせを中心に模擬保育と振り返りを行う。				
	第13回	模擬保育と振り返り 絵本の読み聞かせを中心に模擬保育と振り返りを行う。				
	第14回	模擬保育と振り返り 絵本の読み聞かせを中心に模擬保育と振り返りを行う。				
	第15回	児童文化財を生かしたさまざまな保育実践を知る。 どのような児童文化財を生かした保育が展開されているかを知る。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席  平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度  上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期	
科目名	保育原理	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	齋藤 裕	実務経験の有無		×		
実務経験教員の経歴						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育の基礎基本および保育所、幼稚園、認定こども園等の施設の役割を理解する 2. 保育の歴史に関する基礎知識を身につけ、保育制度や施設の変遷について理解する 3. 保育に関する様々な思想を学び、それらと関連する多様な保育の理念や実際の保育を理解する					
授業概要	「保育」とは何かという保育の理念に始まり、保育の基本原則と理念を、保育の歴史を学ぶことを通して理解する。また、保育制度や施設の変遷を学び現代の保育のあり方を考える。 さらに、保育に関する様々な思想、多様な理念や実際の保育施設を知り、保育に関する学びを深める。					
テキスト	「保育原理」豊岡短期大学					
授業計画	第1回	1. 保育の意義 保育理念と概念				
	第2回	児童の最善の利益を考慮した保育				
	第3回	保護者との協働				
	第4回	保育の社会的意義				
	第5回	保育所保育と家庭的保育				
	第6回	保育所保育指針の制度的位置づけ				
	第7回	2. 保育所保育指針における保育の基本 養護と教育の一体性				
	第8回	環境を通して行う保育				
	第9回	発達過程に応じた保育				
	第10回	保護者との緊密な連携				
	第11回	倫理観に裏付けられた保育士の専門性				
	第12回	3. 保育の思想と歴史的変換 諸外国の保育思想と歴史				
	第13回	日本の保育思想と歴史				
	第14回	4. 保育の現状と課題				
	第15回	期末試験				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期
科目名	こどもの発達と家庭支援	授業形態	講義	単位数	2単位
担当教員	阿久津 洋巳	実務経験の有無	×		
実務経験教員の経歴					
授業のねらい (到達目標)	生涯発達の視点から発達のプロセスや初期発達の重要性について理解し、保育の関連性について考え、子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題について理解する。子育て家庭に関する現状と課題を把握し、子育てを取り巻く社会的状況と課題について理解する。				
授業概要	生涯発達に関する心理学的な基礎的知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題等について学ぶ。家族・家庭の意義や機能を把握するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭を取り巻く社会的状況と課題について学ぶ。				
テキスト	こどもの発達と家庭支援 (豊岡短期大学)				
授業計画	第1回	乳児期の発達			
	第2回	幼児期の発達			
	第3回	学童期の発達			
	第4回	青年期の発達			
	第5回	成人期・中年期の発達			
	第6回	老年期の発達			
	第7回	家族・家庭の意義と機能			
	第8回	親子関係・家族関係の理解			
	第9回	子育ての経験と親としての育ち			
	第10回	子育てを取り巻く社会的状況			
	第11回	ライフコースと仕事・子育て			
	第12回	多様な家庭とその理解			
	第13回	特別な配慮を要する家庭			
	第14回	子どもの生活・生育環境とその影響			
	第15回	子どもの心の健康に関わる問題			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期									
科目名	乳幼児保育 I	授業形態	講義	単位数	2 単位									
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	私立乳児園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう、実践的指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育の理念と役割を理解する</li> <li>・3歳未満児の発達を理解し、個々の発達を促す保育内容とは何か考える。</li> </ul>													
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 乳児保育の理念・役割・発達を理解し、学んだことを整理しまとめる。</li> <li>2) 事例をとおして、乳児のかかわり方を知る。</li> </ol>													
テキスト	豊岡短期大学「乳幼児保育」、保育所保育指針													
授業計画	第1回	「赤ちゃんの不思議」を視聴し、赤ちゃんのしらせざる能力を知り、乳幼児に興味をもつ												
	第2回	乳児保育とは 乳児保育の基本と子どもの最善の利益について												
	第3回	乳児保育の歴史と現代における乳児保育の役割と機能												
	第4回	0歳児の発達特徴と保育者の援助												
	第5回	1歳児の発達特徴と保育者の援助												
	第6回	2歳児の発達特徴と保育者の援助												
	第7回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)①												
	第8回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)②												
	第9回	保育所における子育て支援												
	第10回	乳児保育と子育て支援												
	第11回	乳児の衛生面・安全面を7考慮した保育のあり方												
	第12回	乳児の生活習慣を育む保育者の援助・配慮について												
	第13回	科目修了テスト												
	第14回	赤ちゃんの記録づくりを通し、赤ちゃんが保護者にとってどれほど大切かを学ぶ												
	第15回	期末テスト												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	社会的養護 I	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。</li> <li>・社会的養護の制度や実施体系等について理解する。</li> <li>・社会的養護の現状と課題について理解する。</li> </ul>						
授業概要	望ましい保育者となるために必要な社会的養護の基本的な知識、専門性、価値観を身につける。						
テキスト	「社会的養護 I」 豊岡短期大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	社会的養護の体系					
	第3回	児童虐待①					
	第4回	児童虐待②					
	第5回	子どもの権利擁護					
	第6回	保育士の倫理					
	第7回	日常支援と自立支援①					
	第8回	日常支援と自立支援②					
	第9回	日常支援と自立支援③					
	第10回	社会的養護に関わる専門職					
	第11回	要養護児童の家庭状況①					
	第12回	要養護児童の家庭状況②					
	第13回	社会的養護に関する社会的状況					
	第14回	社会的養護の現状と課題					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	教育原理	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成系大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	教育思想, 世界の近代教育史, 日本の江戸末期から令和にいたすまでの大まかな教育史を学ぶことにより, 教育に関心を持ち, 理解を深められるようです。また教育制度面の特徴をつかめるようにする。						
授業概要	教育の基本的概念, 制度, 歴史面について理解を深めるとともに, 教育とは何か, 学校とは何かについて, 仕組みや方法, 意義をつかむ。						
テキスト	豊岡短期大学「教育原理」						
授業計画	第1回	オリエンテーション「教育」「学校」「先生」-教育とは何か-					
	第2回	「教育」とは何か -ヒトとチンパンジーとの違い-					
	第3回	幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の違い					
	第4回	教育思想家					
	第5回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(江戸末期)-					
	第6回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(明治・大正)-					
	第7回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(大正)-					
	第8回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(昭和)-					
	第9回	「教育」の歴史 -近代日本の教育-					
	第10回	幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿					
	第11回	幼小の接続					
	第12回	教育における今日的課題					
	第13回	教育における今日的課題					
	第14回	諸外国の教育					
	第15回	諸外国の教育					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	教職論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	小学校教員, 国立大学法人教員養成大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園教諭等をはじめとする教職に対する理解を深めるとともに, 専門職としての教師に必要な素養の質的向上を図る。						
授業概要	教師像の歴史的変遷と教師の特性について, 教職を取り巻く現況について, 教師の指導計画作成について 教育実習について, 教員研修について						
テキスト	豊岡短期大学「教職論」						
授業計画	第1回	教師とは					
	第2回	教員, 教師, 教職, 教職員の違い					
	第3回	教師像の歴史的変遷					
	第4回	教育課程と教師					
	第5回	教師の特性					
	第6回	教師の身分, 懲戒, 権利等					
	第7回	教師を取り巻く現況					
	第8回	教師を取り巻く現況					
	第9回	指導計画作成					
	第10回	指導計画作成					
	第11回	教師対象の研修, 初任者研修と10年経験者研修					
	第12回	教師対象の研修, 初任者研修と10年経験者研修					
	第13回	校種を超えた連携					
	第14回	幼小接続					
	第15回	幼小接続					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						



# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	発達心理学	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	阿久津 洋巳	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	発達心理学にかかわる基本的な用語を理解し、説明できる。特に乳幼児期の発達段階について詳細に分類し、それぞれの時期の特徴について説明できる						
授業概要	発達心理学の定義および発達心理学にかかわる基本的な用語の解説、および生涯にわたる発達についての概要を示す。特に乳幼児期については、発達の知見に加え、学習の意義や実践的な保育への活用法について併せて検討する。						
テキスト	発達心理学(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	発達心理学の定義、発達心理学で学ぶ内容の概要					
	第2回	発達はどのように起こるか: 遺伝説と環境説、それらの複合説について					
	第3回	動物における生理学的欲求とは異なる社会的行動について					
	第4回	ボウルビーによる愛着理論と愛着の発達					
	第5回	ストレンジシチュエーション法と、愛着理論の保育への活用					
	第6回	乳児期の発達: 反射と表象の形成					
	第7回	乳幼児期の発達: 表象の発達と、認知発達の特性					
	第8回	幼児期から児童期の発達					
	第9回	児童期・青年期の発達					
	第10回	成人期の発達					
	第11回	壮年期・老年期の発達					
	第12回	ハヴィガーストおよびエリクソンの発達課題からみる生涯発達心理学					
	第13回	発達心理学と教育学の関連					
	第14回	保育に活用できる発達心理学					
	第15回	自身の学びに活用できる発達心理学					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	保育内容総論	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育所での勤務経験から、現場で行われている保育と理論が一致する実践的指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護と教育が一体となった保育、領域の考え方や保育内容を総合的に理解する。</li> <li>・園での生活や遊び、保育計画、具体的な援助等について保育実践と結び付ける。</li> </ul>													
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 領域別に学んだ内容を実際の子どもの姿と結びつけて総合的に理解する。</li> <li>2) 保育所保育指針等に基づく保育内容の基本的理解が深まるようにする。</li> </ol>													
テキスト	「保育内容総論」「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「認定こども園教育保育要領」													
授業計画	第1回	保育の全体構造(1) 保育とは、幼稚園・保育所・認定こども園とは												
	第2回	保育の全体構造(2) 指針・要領と養護と教育に一体化												
	第3回	保育の全体構造(3) 領域の考え方と乳児保育												
	第4回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(1)環境を通しての保育												
	第5回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(2)遊びによる総合的保育												
	第6回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(3)生活と遊びと保育者の役割												
	第7回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(4)保育者の役割まとめ												
	第8回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(5)幼保小の連携について												
	第9回	科目修了テスト												
	第10回	全体的な計画の作成と指導計画(1)全体的な計画の作成												
	第11回	全体的な計画の作成と指導計画(2)指導計画の作成手順と配慮												
	第12回	保育の評価と保育の記録(1)幼児理解に基づく評価												
	第13回	保育の評価と保育の記録(2)観察記録を書く意味と幼児理解												
	第14回	保育内容の歴史の変遷												
	第15回	期末テスト												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	子どもの指導法「人間関係」	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域人間関係のねらいや内容の取扱いについて理解する。</li> <li>・人間関係の発達や自立心・協同性の発達を理解し、保育実践に応用できる。</li> </ul>						
授業概要	1) 事例を用い、さまざまな子どもの人と関わる力の育ちを考察する。 2) 保育者としてどのように人と関わる力を育てていくのか、保育者として子どもとどのような関係を築いていくか考察する。						
テキスト	豊岡短期大学「人間関係論」、保育所保育指針						
授業計画	第1回	保育の基本と人との関わり					
	第2回	演習1「私は誰」「対人関係図」、ワークシート1					
	第3回	乳児期における人との関わりでの発達、ワークシート2					
	第4回	遊びの中で育つ人との関わり、演習3、ワークシート3					
	第5回	人との関わりを育てる保育の充実・保育者の役割					
	第6回	人との関わりが難しい子どもへの支援					
	第7回	園、家庭、地域の生活と人との関わり					
	第8回	演習4、事例 グループワーク					
	第9回	ワークシート4、領域人間関係をめぐる諸問題					
	第10回	単位認定試験					
	第11回	インドプロジェクトの事例から保育内容を考察する					
	第12回	インドプロジェクトの事例から5領域の関連を考察する					
	第13回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える					
	第14回	子どもの人と関わる力を育む保育内容を考える(ロールプレイ)					
	第15回	期末テスト					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	こどもの指導法「言葉」	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	領域『言葉』の内容、その他の領域との相互性を学び、言葉の発達の大切さを理解することができる。						
授業概要	乳幼児期の言葉の発達やそのしくみ、こどもへの先達となる保育者の言葉のあり方、姿勢などについて学習を深め、発達段階に合わせた関わりと言葉がけの大切さを理解すると共に、文字への興味、言葉の持つ楽しさや美しさ、言語教材についても学ぶ。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 言葉						
授業計画	第1回	言葉とは何か？ 私たちが言葉を使って行っていること					
	第2回	母語・日本語の特徴					
	第3回	言葉の形態(聞く話す読む書く)					
	第4回	言葉の役割①					
	第5回	言葉の役割②					
	第6回	言葉の発達(誕生期～乳児期)①					
	第7回	言葉の発達(誕生期～乳児期)②					
	第8回	言葉の発達(幼児期)					
	第9回	保育者の関わり(誕生期～乳児期)					
	第10回	保育者の関わり(幼児期)					
	第11回	豊かに言葉を育む活動①【語用論】					
	第12回	豊かに言葉を育む活動②児童文化財					
	第13回	言葉の問題① 人的環境として					
	第14回	言葉の問題② 障害					
	第15回	視聴覚教材【ピンク帽子のドレミファソ】					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	こどもの指導法「リズム表現」	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年						
授業のねらい (到達目標)	保育内容を理解し、表現遊びを展開するために必要な知識や技術を表現領域から見出し、保育指導法を修得していくことを目的とする。また、こどもの表現の指導援助者として、保育内で扱う教材について必要な知識も併せて修得する。						
授業概要	幼稚園教育要領、保育所諸育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領「表現」の内容を主軸として他領域での知識や技能と関連させながら、こどもにとっての表現について、その意義、効果的な指導法、使用教材の知識などについての理論と実践方法を自らの音楽表現や身体表現、言語表現、造形表現から学習する。						
テキスト	「改訂4版 幼児の音楽教育法 美しい歌声をめざして」 ふくろう出版 吉富 功修・三村 真弓 編著						
授業計画	第1回	領域「表現」についての基本的な考え方 「表現」についての洞察					
	第2回	領域「表現」の指導案において求められる表現の捉え方と評価 小学校の教科とのつながりについての理解					
	第3回	基礎リズム 基礎リズムパターンの理解と指導上の留意点					
	第4回	幼児期の身体的・精神的発達をふまえた指導法の理解					
	第5回	基本動作 幼児の心情・認識・思考・動きをふまえた基本動作					
	第6回	日常生活が表現につながる可能性に気づき、観察や模倣を通して幼児のイメージを豊かにする指導法					
	第7回	CD等の情報機器を用いた多様な振り付けの実践と理解					
	第8回	童謡やわらべうたについての多様な振付の実践 幼児の表現したい気持ちを育む指導法の実践					
	第9回	楽器の製作と活用、製作した楽器を用いての指導案の作成					
	第10回	楽器の取り扱いと身近な素材を使った楽器製作 指導案作成の基礎を理解し、指導案の作成					
	第11回	領域「表現」と幼保小のつながり					
	第12回	オノマトペ(擬態語・擬音語・擬声語)の表現方法について					
	第13回	表現する力を育てるための保育者の役割と援助について					
	第14回	絵本のストーリーを取り入れた模擬保育の実践 保育構想発展のための相互発表による振り返り					
	第15回	リズム遊びを用いた創作発表					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」	授業形態	演習	単位数		
担当教員	石川美穂・川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。					
テキスト	豊岡短大テキスト「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)	
科目名	こどもの指導法「音楽表現」	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	小見英晴・川内菜央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい(到達目標)	目を同運つ、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける					
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。					
テキスト	豊岡短大テキスト「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	本科目の概要の説明。「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」各テキストと「幼児の歌110曲集」より、テクニックを身につけながら実践で活用できるレパートリーを増やす。個々のレベル把握				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。初心者は初歩の課題から音読み・リズム・運指に慣れる。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	後期	
科目名	保育実習指導 I	授業形態	演習	単位数	1 単位	
担当教員	笠井 多佳子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立保育園に30年勤務、現場保育士の経験を踏まえ、授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	・保育実習の意義・目的を理解する。・保育所・認定こども園・児童福祉施設のそれぞれを知る。・実習の流れと実習の心得を学ぶ。・実習の目標・実習課題を学ぶ。・事後指導では、実習の振り返りと自己評価を行い、新たな課題、目標を設定する。					
授業概要	①保育実習の意義・目的を理解する。②子どもをどう援助していくか演習を通して考える。③実習の流れと実習マニュアルを中心に学び、自分の実習課題を考える。④事後指導では、実習の振り返り・自己評価を行い新たな課題や目標を設定する。					
テキスト	・学びをいかす保育実習ハンドブック・施設実習ガイド・保育実習学・保育者の常識67・DVD「施設実習の予備知識」・保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説					
授業計画	第1回	実習の意義・目的を理解する				
	第2回	保育所とは何か、その現状と課題				
	第3回	新保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
	第4回	保育所の職場構成と連携				
	第5回	社会人のマナー・報連相(報告・連絡・相談)の重要性				
	第6回	乳幼児の年齢別発達の特徴				
	第7回	緊急時の対応(怪我・地震・火事等)、事故予防について				
	第8回	実習の意義・目的を理解する理解する。種類(参観実習・参加実習・責任実習)とは何か				
	第9回	実習日誌の書き方・保育指導案の立て方				
	第10回	保育技術の内容・絵本の読み方・手遊びの仕方・ピアノ等				
	第11回	児童福祉施設の種別及び特徴				
	第12回	社会的養護の原理・原則及び支援について				
	第13回	プライバシーの保護と守秘義務				
	第14回	児童福祉施設のお職種及び他機関との連携の仕方				
	第15回	事後学習・学習の総括と自己評価、新たな課題や自己目標の明確化				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%



# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究 I	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行						
授業のねらい (到達目標)	絵本や紙芝居の読み語りの基本的な技術を習得する 制作の際必要となる基本的知識技術を学び、保育グッズを実際に制作したり実演方法を考える						
授業概要	絵本や紙芝居の年齢別選び方や 持ち方読み方について学び、実演をする 手遊びモノあそびなどを覚えて実際にやってみる 自分なりの工夫を凝らして保育グッズを作る 出来たら演じて見せ合う						
テキスト	「基本の遊びと広げ方」「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	総合学習前期の授業内容・採点方法について 図画工作室の使い方片づけ方 道具箱の中身の説明・使い方・実際に使ってみる					
	第2回	手あそびについて学び、様々な年齢に向けての手あそびの実演を見て 実際にやってみる テキスト「基本のあそびと広げ方」&プリント					
	第3回	絵本の年齢別選び方、持ち方・読み方について 絵本読みの実演					
	第4回	自己紹介や絵本の導入に使える手あそびと、絵本の終わり方					
	第5回	紙芝居の年齢別選び方、持ち方・めくり方・仕掛けについてと読み方の実演					
	第6回	制作のための基本的な知識と指導のポイント・裏技について、 プリントや実際の物を確認しながら、教材の素材と利用のノウハウについて知る					
	第7回	簡単なペープサート・カードシアターなど年齢別に様々な実演を見たり 資料を調べたりして、自分の作りたい物を決められるようにする					
	第8回	制作開始					
	第9回	制作続きから完成まで					
	第10回	子どもたちの前での実践方法を考え、演じて見せ合い、学びの場とする					
	第11回	保育で使用するグッズ第2段の制作 スケッチブックシアター(自己紹介用含む)					
	第12回	〃					
	第13回	〃					
	第14回	完成と演じ方について					
	第15回	〃					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)	
科目名	教材研究 I	授業形態	演習	単位数	1 単位	
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行					
授業のねらい (到達目標)	子どもが楽しめるグッズを作り、演じ方を考えて確実に使えるものにする 様々な素材に親しんで保育のポケットを充実させたり技術の向上を図る					
授業概要	保育に役立つグッズ制作や、いろいろな素材を使ったあそびを体験し、その応用を考える 個人やグループで発表の経験を積み、演じ方や基本的な技術を習得する					
テキスト	テキスト「基本の遊びと広げ方」「すきまあそび時間107」&プリント					
授業計画	第1回	「すきま時間あそび107」であそぶ				
	第2回	シャボン玉あそび(校外学習)				
	第3回	シャボン玉の危険や配慮・遊びの広げ方など 次に作るグッズを決める				
	第4回	グッズ制作(手袋・パペット系)				
	第5回	制作の続き 完成した者から、演じ方を考える				
	第6回	発表				
	第7回	タオル遊び				
	第8回	体を動かすあそび・遊戯系				
	第9回	コマ回し大会				
	第10回	パネルシアターとは何か?初心者向けDVDを観る 自分の作りたいものを決める				
	第11回	制作開始				
	第12回	"				
	第13回	"				
	第14回	完成した者から演じる練習、一部発表				
	第15回	発表				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)
科目名	実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2 単位
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。				
授業のねらい (到達目標)	保育実習の意義や目的を理解し、実習生としての態度や技術を身につける。また、社会人としてのマナーや言葉遣いを身につける。指導案・日誌を書くための感性と文章力を養う。いつもねらいを持ち、子どもの主体性を尊重した保育ができるよう、授業内で数多くの実践を行いながら柔軟な思考や臨機応変の態度を身につける。				
授業概要	グループ園実習に関することを学びます。ねらいを立て、活動を実際に行いながら学んでいきます。				
テキスト	「実践保育学」日本小児医事出版社、「保育の基本用語」わかば社、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館				
授業計画	第1回	【保育ってなあに 1日実習【事前】 保育の意味と楽しさを学びます。子どもの世界に入らせてもらうことについて学びます。			
	第2回	【1日実習【事後】 1回目の一日実習の振り返りをしましょう。あなた自身が楽しかったと感じたのはどのようなことですか。子ども達が楽しそうにしていたことはどのようなことですか。気になったことは何ですか。			
	第3回	【1日実習2 事前】実習ついてしおりを読みます。実習の際の注意点、準備するものについて学びます。			
	第4回	【1日実習2 事後】1日実習2 の振り返りをしましょう。子ども達の様子で気になったことはありますか。			
	第5回	【2日間実習1 事前】1日実習2 の振り返りをもとにめあてを立てます。観察実習・参加実習の方法を再確認します。観察実習はどのようなことに気を付けて見たら良いのかを学びます。			
	第6回	【2日間実習1 事後】2日間実習の振り返りをしましょう。記録をしてみましよう。初めて聞く言葉が出てきますので、覚えるようにします。			
	第7回	【2日間実習1 事後】日誌添削をもとに、日誌の書き直しをします。間違えやすい漢字、使えない語句などについて学びます。			
	第8回	【2日間実習2 事前】観察とはどのような視点で行えばいいかを理解します。前回の反省をもとに次回のためあてを考えます。			
	第9回	【2日間実習2 事後】2日間実習の振り返りをしましょう。前回と違う点は何でしょう。			
	第10回	【2日間実習2 事後】日誌添削をもとに、日誌の書き直しをします。間違えやすい漢字、使えない語句などについて学びます。			
	第11回	【1日実習3 事前】実習方法を再確認します。			
	第12回	【1日実習3 事後・絵本の読み聞かせについて】1日実習の振り返りをします。絵本の読み聞かせをします。声の大きさ、高さ、声色、座り方、ページのめくり方、めくる速さなど、配慮する点について学びます。			
	第13回	【指導案の書き方】指導案とは何でしょう。指導案の重要性、書くことの意味を理解します。指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。			
	第14回	【指導案の書き方】指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。指導案の表現方法を学びます。			
	第15回	【指導案の書き方】指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席  平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%  出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する					

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)	
科目名	実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2 単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	保育実習の意義や目的を理解し、実習生としての態度や技術を身につける。また、社会人としてのマナーや言葉遣いを身につける。指導案・日誌を書くための感性と文章力を養う。いつもねらいを持ち、子どもの主体性を尊重した保育ができるよう、授業内で数多くの実践を行いながら柔軟な思考や臨機応変の態度を身につける。					
授業概要	グループ園実習に関することを学びます。ねらいを立て、活動を実際に行いながら学んでいきます。					
テキスト	帆足英一監修「実践保育学」日本小児医事出版社、長島和代編「保育の基本用語」わかば社、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館					
授業計画	第1回	【お楽しみ会・つくってあそぼうの準備】グループごとに準備をします。ねらい、必要な物、必要な時間、配慮する点について考えます。				
	第2回	【お楽しみ会・つくってあそぼうの準備】グループごとに準備をします。ねらい、必要な物、必要な時間、配慮する点について考えます。				
	第3回	【お楽しみ会ORつくってあそぼう】グループごとに発表します。ポイントは、「クラスメイトの反応を見ながら臨機応変に行う」ことです。				
	第4回	【お楽しみ会ORつくってあそぼう】グループごとに発表します。ポイントは、「クラスメイトの反応を見ながら臨機応変に行う」ことです。				
	第5回	【遊びの指導案】お楽しみ会の内容で指導案を作成してみます。お楽しみ会で上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。子どもの年齢についても考えます。				
	第6回	【遊びの指導案】お楽しみ会の内容で指導案を作成してみます。お楽しみ会で上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。子どもの年齢についても考えます。				
	第7回	【制作の指導案】つくってあそぼうの指導案を作成してみます。上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。材料の準備が年齢にあっていたかどうか確認します。				
	第8回	【制作の指導案】つくってあそぼうの指導案を作成してみます。上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。材料の準備が年齢にあっていたかどうか確認します。				
	第9回	【1週間実習】事前】実習についてしおりを読みます。準備するもの、心構えについて再確認しましょう。				
	第10回	【1週間実習】事後】1週間実習の振り返りをしましょう。うまくできたこと、ご指導いただいたことを記録することにより、学びが深まります。次の実習の目標に繋げましょう。				
	第11回	【1週間実習】事前】添削後の日誌を直します。間違えた漢字や表現方法について、正しいものを覚えるようにしましょう。				
	第12回	【1週間実習】事前】制作準備と実技をします。材料の選び方や準備の仕方について学びます。実技は、「目の前の子どもに合わせる」ことを心がけましょう。				
	第13回	【1週間実習】事前】制作準備と実技をします。材料の選び方や準備の仕方について学びます。実技は、「目の前の子どもに合わせる」ことを心がけましょう。				
	第14回	【1週間実習】事前】書類や部分実習の最終確認をします。しおりの内容も確認しましょう。自分の目標についても再確認します。				
	第15回	【1週間実習】事後】1週間実習の振り返りをします。また、今年度の実習の反省もしましょう。反省をして記録しておくことにより、実習生としての質が向上します。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども発達学科	実施学年	1学年	開講期	通年
科目名	実習	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習生の姿勢・態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に関するマナーや職業倫理について知る。</li> <li>・実習を通して、子どもたちと一緒に遊びながら子どもと関わることの楽しさを味わい、保育者の仕事に関心を深め期待を高める。</li> <li>・提出物は期日を守る。</li> </ul> </li> <li>2. 知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の一日の流れを理解する。</li> <li>・子どもの発達過程を理解し、保育環境や援助の在り方についても考えてみる。</li> <li>・簡単な保育実技を身につけ、グループ園で体験してみる。</li> </ul> </li> <li>3. 実習日誌 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌の意義、記入上の諸注意について学び理解する。</li> <li>・メモのとり方や日誌の書き方を学び、グループ園実習を通して実際に日誌を書いてみる。</li> </ul> </li> <li>4. 指導案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案とは何かを知り、立案の仕方を学ぶ。</li> <li>・グループ園実習に向けて、年齢に合った指導案を作成し、実際に体験してみる。</li> </ul> </li> </ol>				
授業概要	<p>グループ園実習を通して、学校で学ぶ倫理と園での保育実践のすり合わせをしながら、子どもの発達や保育者のかかわりを体験的に理解し、様々な技術を習得する。また、社会人としての道義・礼節・常識についても気づき、身につける。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				